



# 幸樹

こう じゅ

## 第55号

2019年10月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



### 絵手紙

武井和世

エストニアの首都タリンで。要塞博物館の塔の窓から見た旧市街、その向こうにバルト海。

## 第23回地域交流カフェ 運動会&文化祭

●運動会 日時:10月15日(火)12:00~、場所:さんしょうリビング  
食事会 12:00~ 《どなたでも参加自由》

●文化祭(作品展) 場所:あつまーれ幸樹

《作品募集中⇒連絡先:からたち薬局TEL047-710-2785》



# 子どもは 社会の宝

## デンマークの子育て・ 教育を見てきました

9月6日から、ラスムセン・京子さんにお世話になり、デンマークの子育て・教育現場の見学をしてきました。今回は簡単な概要報告ですが、詳しくは報告冊子を別途作成いたします。発行の際にはご一読いただければ幸いです。（中野三代子）



▲2番目の訪問先ミルマウンテンガーデン幼稚園で。左から武井和世、キルスティン園長、ラスムセン・京子、中野三代子、村山八千代の皆さん

## 楽しく遊んで成長

### Smagsprover til alle



### Snart skal madaff



最初の訪問先は、コペンハーゲン南部の静かな住宅街のなかにあるクログステン幼稚園です。室内には室内遊具、ミニキッチン、さまざまな椅子・つくえ、壁には子どもたちの作品がずらり。昼食の後、子どもたちは元気に建物の四方の園庭で遊んでいます。ミニカー・台車、滑り台、鉄棒、小屋、砂場、小山と松林等々、遊ぶに事欠かない環境です。

遊びながら社会性を身に付けようということで、エコロジーについても自然と理解できるように工夫しています。私たちの訪問の後に、地方紙の取材をうけて、生ごみ処理を自分たちで分別していることなどが報道されていました。子ども囲まれているのが園長のニールス・ヨルゲンさん（写真上）。



▲京子さんの長男エスキル、ティナさん夫妻に昨年暮生まれたラオストくんは可愛くたくましく育っていました

## 雨の中の泥んこ遊び、大好き！

2番目の訪問先は、コペンハーゲンから電車で約40分のムージュヴの住宅街にあるミルマウンテンガーデン幼稚園、デンマークの一般的な施設だそうです。玄関を入ると真中に大きな遊戯室、左側に子どもたちと一緒に食事準備・調理ができる開放的な調理室。食育と野外遊びを大事にしている、雨天でしたが、食事の後、子どもたちは全員個性的な合羽を着て泥んこ掛け合い遊びなどをして走り回っていました。私たちが披露した折り紙や小鳥の指人形手品歌も人気でした。

## 自立・批判的精神、社会性ある生徒に

3番目の訪問先は、ブロンビーストランドスクール（小中学校）です。教頭のフレデリック・ジェセン先生が、白板に学校の基本



方針を日本語で「市民権」「幸福」「プロフェッショナリズム」と書いたもの（写真上）を用意し、説明してくれました。一番大事にしていることは市民権で、自由だけれども責任ある社会の一員であること、そのために学校生活でも政治についても批判的に見て意見を出し変えていく民主主義・連帯の力を育てることを重視しているそうです。トルコ、パキスタン、ポーランドなどの外国人の2世3世も多くいて、9年生の社会科の授業では、家庭・国・世界の経済をテーマに4～5人のグループで意見をたたかかせていました。

# これからの人生を謳歌したい

さんしょうを“卒業”された  
佐藤初枝さんにインタビュー



介護保険の再認定調査の結果、9月から要支援となり、さんしょうを“卒業”された佐藤初枝さん（79歳）。開設頃から約3年間利用され、さんしょうのいたわり合う優しい雰囲気づくりをリードされてきました。7月からはなんと人生初めての一人暮らしも始めました。見晴らしの良い公団住宅の8階、笑顔で出迎えてくださった佐藤さん。さしこむ日射しに白い壁が映えるお部屋に、ご家族の写真や花が飾られ、オールディーズの音楽が流れています。

（聞き手：岩橋多恵子）

今朝目が覚めたときに、ふと「あんなに一人でいるのが嫌だったのに、なんで一人暮らししているんだろう？」と思ったところだったの。いろいろ病気をして不安な気持ちも強く、長くお世話になっている三和病院の渡辺聡枝先生からも“一人でいない方がいい”と言われていたから。一人暮らしは子どもたちにも反対されたけれど、元気になった勢いで実行しちゃった。自信がついてきたからだと思う。

一時はもう家には帰れないかもしれないと、ずっとさんしょうに泊まっていた時期もあった。こんなに元気になったのはさんしょうのおかげ。さんしょうを利用して人生観が変わった。若い人たちがたくさん働いて、一生懸命お世話して優しく声をかけてくれて、みんな安心して過ごさせていた。女性の利用者さんはみんな元気におしゃべりしてたけど、男性も黙っていても動いている若い人たちを見ているだけで元気がもらえていたと思う。

だから私も自分がしてもらってうれしかったことは人にしてあげたいと思えるようになった。この間、八柱駅前でおじいさんが転んでしまっていて、とっさに助けてあげようとしたんだけど、自分もこんな体だ

から二人してよろよろしちゃって（笑）。通りかかった人が手を貸してくれてタクシー乗り場まで行ったの。そんなこと今までの自分じゃ考えられなかったわ。子どもにも「ママ変わったね」と言われた。

さんしょうに通えなくなったことは淋しいけれど、今は信頼できる先生に診てもらいながら、週1回ずつあんず訪問看護ステーションの看護師さんとケアステーションゆずのヘルパーさんにきてもらっているから、幸樹会と繋がっていると感じられている。お友達にもさんしょうを宣伝しているけど、あんまり広まっちゃうと自分が具合悪くなったとき部屋がないといけないからほどほどにしないとね（笑）。

やっぱり健康が大切ね。もっと若ければボランティアしたいけれど、これからの人生、いろんなことに挑戦して謳歌したいと思っています。

看護師

の

こころ

障がい児のケア

あんず訪問看護ステーション看護師・村山美穂

私は2年目の看護師で、小児の看護は学生時代に病棟で実習した以来で、ここに来るまでは家で病気を持ちながらも暮らしている子どもを看たことはありませんでした。急変も多いと聞いていましたし、初めてのころはケアを恐る恐る行っていたように思います。

しかし、何か月か継続して関わらせていただくと、子どもたちひとり一人の表情や行動に気持ちが表れていることがわかってきました。足の体操の時間になると声を出して満面の笑顔になるというような分かりやすい嬉しさの表現もあれば、表情がなんとなくいつもより硬い・柔らかいといった些細な変化もだんだん見えてきます。子どもたちの笑顔や表情はとても癒しだなと感じられるようになってきました。

呼吸器をつけていたり、体調が変化しやすかったり、脱臼しやすかったり、気を付けなくてはならないことは多くあります。常に細心の注意を払い程よく緊張感を持ちつつ、子どもたちの表現をくみ取っていける力をさらに養っていきたいと思っています。

どこの家庭のお母さんも、子どもたちのために一生懸命ケアをされており、教えていただくことがたくさんあります。母の強さや愛情を感じるとともに、家事をこなしつつ、医療的ケアも行っている負担は大きいと感じます。兄弟たちへの支援も大切だなと思います。障がいを持つ子どもとその家族が情報や悩みを共有し交流する場がもっとあれば良いと思います。私も、小さなことでも気軽に打ち打ち明けられるような信頼され話しやすい存在になっていきたいです。



## デンマーク便り…⑬

ラスムッセン 京子

コペンハーゲン市内に地下鉄メ

トロ Metro の環状線が9月28日に開通します。当日は運賃が無料という事もあって混雑が予想されています。『幸樹』を皆さんの手にとってもらえるころはコペンハーゲンの市民がこの環状線を利用してもっと早く市内を廻る事が出来るようになります。今まで2本の路線しかなかったメトロ Metro がコペンハーゲン中央駅にも乗り入れをする様になり、遅れがちなバスを利用せずメトロ Metro から市電に簡単に乗り換えられます。通勤通学が楽になります。少しは車通勤から列車に乗り換える人も多くなることが期待されています。

## 大気汚染が心配！

環境汚染で一番問題になっているのは空気の汚染の問題です。

車の排気ガスで建物も黒ずんできますが、当

然肺胞の中も当然汚染され、大道りに面した窓を開けない様に、開けるのであれば中庭側を開けるようにと子供のいる家庭では保健婦から家庭訪問の際指導されたりします。

最近デンマークで2012年から行われていた全国の建物の前の1mの高さで計測した大気汚染地図が発表され話題になっています。オーフース大学が環境省と協力し全国くまなく計測を重ねた結果ですが多くの学生、年金俸給者、小中学校の生徒等のボランティアの力も借りて作り上げられたものです。この地図で自宅の大気汚染度を確認できるので大変な反響です。

我が家族にも影響が出てきました。今では1歳未満の我が子を心配して市内の中心に住んでいる長男が郊外に家を買おうと宣言しマンションを売りに掛け、郊外に小さな中古住宅を探し始めました。この傾向は幼い子供を抱えるカップルに顕著です。市内の中心の物件の出なかった地域にもこの頃はマンションが売りに出ています。郊外の住宅は供給不足に成りそうです。さてバブルと言われるほどのコペンハーゲン市内のマンションの価格高騰が少しは落ち着くかもしれませんが、近郊の住宅地は高騰が予想されます。

果たして長男一家に手が届くのでしょうか？



## 新入職員紹介

看護師・太田 陽子

9月からあんず訪問看護ステーションで働くことになりました太田陽子です。今まで葛飾区の訪問看護ステーションで働いていましたが、地元で働きたいと思い転職しました。1日でも早くお仕事を覚えて役にたてるように努力していきます。よろしくお願い致します。



介護職員・四宮 明夫

介護の仕事に初めてつきました。

いろいろなことが分かれば、介護のことが好きになると思います。よろしくお願い致します。



今月の屋上太陽光発電量は、

**1336KWh**



幸樹会館電力使用量 5171KWh 自給率 25.84%

## 八柱学習会

●前回報告 9月20日(金) 助言者 武井幸穂氏

「認知症ケア実践者研修」報告

あんず訪問看護ステーション・大橋麻子

参加者 18人。食事摂取不良や低血糖で入退院を繰り返してきた認知症・糖尿病がある高齢独居女性の訪問看護を依頼され、ヘルパーなど他職種の協力を得て、「食事管理ノート」をつくり支援の改善を検討した。ノートの上段に「冷蔵庫に入っているもの」「廃棄したもの」「買って来たもの」「ゴミ箱のカラ」「冷蔵庫以外の場所にある食べ物」、下段に今日の出来事、食事内容を記録した。認知症でバランス良い食事ができず甘いものばかり食べていると思い込んでいたが、ノート記入の情報から、魚や野菜、煮物など幅広く色々なものを摂取していることが分かった。これを踏まえ、ヘルパーの協力を得て、支援改善策を実行したいとの報告。日常的にはこのような食事ノート作成は困難だが、他職種を含めた正確な情報共有の方法として評価できるとりくみだとの意見がありました。

▼次回学習会予定(「定例日：毎月第3金曜日」)

●10月18日(金)、18:30~

幸樹会発行『あなたが教えてくれたこと』を読んで

場所：幸樹会館2階会議室《参加自由》

職員募集！非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり  
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550